

町会ニュース

第24号
平成25年6月9日
(発行)
箕土路町会
6月

町内美化運動

ゴミをなくして綺麗な町に!

団体の連携と結束! 「町内美化運

5月26日(日)午前9時から、箕和会主催による美化運動が親和会と共同で実施されました。各団体の積極的な参加で、町内全域を汗拭きタオルを首に巻き、軍手・ゴミ袋を手手に持って、側溝から引き揚げられた泥や砂、投棄された空き缶、路上のごみを拾い集めました。だんじり祭りで培った団体の連携と絆は

こんな場でも見事に發揮。綺麗な町に蘇りました。参加された方々に紙面を借りてお礼申し上げます。



回収されたゴミは旧大門池跡地に集積



川や側溝からゴミを集める

町内巡回で安全・安心! 「防犯パトロール」

5月19日(日)午前9時30分より曇り空の中、町会主催の防犯パトロールを実施しました。例年通り4班に分かれた各団体50名余り。古くなった啓発



防犯パトロールに集まった参加者

ポスターの交換や追加掲示しながら、犯罪のない安全・安心の願いを込めて、40分余りかけて巡回を行いました。

目を輝かせた! だんじり「ふれあい交流会」

5月19日(日)午後1時よりだんじり小屋で、だんじりふれあい交流会が行われました。

当日はあいにくの雨でしたが、子供会役員の方々のサポートを受けて多くの子ども達は、目を輝かせて大屋根に乗ったり、得意げに鳴り物を体験したりして、楽しいひと時を過ごしました。

箕土路町のだんじり文化は、こんな「だんじり大好きちびっ子」達により、営々と引き継がれていく事でしょう。



得意げに大工方や鳴り物に挑戦するちびっ子



街角散歩

「梅雨」の語源は何か?

梅雨の語源

今年(平成25年)は平年より10日早まり、5月28日から梅雨入りしました。

ひとつは、この時期はちょうど梅の実が熟する頃とする説。「つゆ」の「梅」という漢字は、木へんに、毎日の「毎」と書きます。だから、毎日毎日続けて雨が降るこの時期にこの

漢字が当てられたという説...。中国では、黴(かび)の生えやすい時期の雨という意味で、元々「黴雨(ばいりゅう)」と呼ばれていたが、カビでは語感が悪いため、同じ「ばい」で季節に合った「梅」の字を使い「梅雨」になったとする説...等。様々な説がある様です。



安全・安心の願い込めて啓発ポスターを掲示する

6・7月の主な行事予定

6月

9日(日)第3回評議員会

7月

7日(日)埋立ゴミ回収日

14日(日)第4回評議員会

21日(日)公園美化運動

★ 8/12・13日納涼盆踊り

